

氣

東温高校 野球部通信

第1号
令和3年1月8日

☆ 夏季大会 応援ありがとうございました ☆

令和2年8月1日(土)に愛媛県高等学校夏季野球大会が開幕しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、甲子園大会の開催が中止され、各都道府県独自の大会の開催となり、3年生にとって例年以上に特別な大会になりました。山田凌キャプテンを中心に新人戦、秋季大会は済美、松山聖陵相手に好ゲームをしながらも1点差負けの悔しい思いをしてきたので、夏はまず1勝を目標に練習に取り組んできましたが、十分に力を発揮することができず悔しい結果となりました。今まで支えてくれた方々、応援してくださった方々には感謝申し上げます。3年生たちは、この東温高校野球部で学んだことを残りの高校生活や進路に生かすことと、これからは東温高校野球部OBとして後輩たちの応援を願います。また、新チームは久保新キャプテンのもと、総勢26名で秋季大会に向けて日々の練習に励んでいきます。今後とも本校野球部への温かい応援をよろしく願います。



一杯であった。序盤から多くのチャンスを作るものの、序盤の失点が響き、追いつくことができなかった。多くの保護者の方々や地域の方々の声援を胸に最後まで諦めず戦ったが、悔しい結果となった。
(副部長：渡部元輝)

～ 高校野球を終えて ～

《 前主将 山田凌 》

私たちの最後の大会は、優勝してもその先に甲子園がないことが前提で開催されました。小さな頃から憧れの高校野球という舞台上、甲子園という目標を掲げて日々練習し、勝ち上がることを夢見てきたので、報告を受けたときの喪失感は今でも忘れません。ただ、このような特別な3年間を体験できたことによって、「野球ができる喜び、野球の楽しさ」を改めて、深く知ることができました。共に苦しい練習を乗り越えてきた仲間との思い出や培ったものそれは決して無駄ではなかったと改めて感じています。そして、キャプテンという役割を任されたことにより、誰でも体験できるようなものではない特別な責任感、重圧などを感じることができました。これは私の人生にとって大きな財産となりました。今までお世話になった方々にはこれから全力で恩返ししていきます。応援ありがとうございました。



○ 令和2年度愛媛県高等学校夏季野球大会

【1回戦】 令和2年8月1日(土) 坊ちゃんスタジアム 第2試合

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東温	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
松山南	3	0	2	0	1	0	1	0	0	7

東温：岩川、秋山－白石 ▽三塁打：山田 ▽盗塁：平岡、山田

初回に平岡の安打、2回には山田の三塁打によりチャンスを作るも攻めきれず、得点することができなかった。逆に、相手には守備のミスから初回に3点、3回に2点を取られ、序盤から苦しい試合展開となった。4回には、途中登板の秋山による気迫のピッチングにより見事ピンチを脱し、その後も秋山の粘り強い投球により相手打線を最少失点で抑えた。反撃したい攻撃は、7回に大村、藤岡の連続ヒットから越智の犠牲フライ、8回に平岡のヒットと盗塁から白石のタイムリーで得点を重ねたが、反撃もここまでで、2点を返すのが精

新チーム始動！！

《新チームメンバー紹介（ポジション・出身中学）》

2年生	1年生	マネージャー
久保 将輝(遊撃手)	池田 琥珀(右翼手)	松岡 沙耶(2年)
河本 亮悟(右翼手)	泉内 巧太朗(投手)	井上 未羽(1年)
玉井 優李(捕手)	伊藤 賢三(投手)	上野 美来(1年)
岩川 慎之介(投手)	今村 亮太(三塁手)	鈴木 遥乃(1年)
上田 和輝(左翼手)	尾花 俊鳳(二塁手)	高須賀 百愛(1年)
高氏 絢登(二塁手)	曾我部 光(投手)	
戸田 蒼平(三塁手)	中岡 望空(遊撃手)	
野々下 英敏(中堅手)	文野 慎太郎(投手)	
本多 翔(捕手)	宮本 哀希(二塁手)	
山下 叶夢(左翼手)	渡部 悠翔(右翼手)	
渡邊 景柊(一塁手)		



～ 新チームの抱負 ～

《 主将 久保将輝 》

チームの目標は、夏の敗戦を経験して、先の試合ばかりみず、目の前の試合を大切にして、一戦必勝で頑張ることです。そして、新チームは引退された3年生たちと比べると、個々の能力は高くないので、チームの力を伸ばして、努力して勝ち上がっていきたいです。そしてすぐに秋の大会があるので、1人1人が自分の役割をしっかりと果たし、前の学年のチームでできなかった公式戦1勝をまずは成し遂げたいです。応援よろしくお祈いします。



《 副主将 河本亮悟 》

新チームは、前の学年チームの状態よりもかなり劣っていますが、前の学年のチームよりも1段階、2段階上回るようなチームを作っていきたいと思っています。久保のサポートだけでなく、自分もチームを引っ張れるような選手になりたいと思っています。前のチームは、公式戦で1勝もすることができませんでした。チームパワーはどここのチームにも負けないくらいあったと思うのですが、ちょっとした油断が敗因になったのではないかと考えています。なので、新チームは、どこの相手と対戦しても油断せず、気を引き締めて全員野球で勝ちに行きます。応援よろしくお祈いします。



《 副主将 玉井優李 》

前チームでは公式戦で惜しい試合をしたものの1勝もできなかったので公式戦で1勝でも多くできるように頑張ります。正捕手としてプレーと声でチームを引っ張っていきます。今までの落ち着きのないプレーとは変わってきているので、変わった自分を次の大会で出したいです。応援よろしくお祈いします。



《 マネージャー 松岡沙耶 》

私たちマネージャーは昨年までは全てを1人でこなす大変な面もたくさんありましたが、後輩が入ってくれたことにより仕事を分担することで効率よく進めることができるようになりました。これからも私たちは常に選手が気持ち良く練習等ができるようにサポートし、選手1人1人に寄り添い、頼りになるマネージャーを目指して頑張ります。

＜編集後記＞

【創刊にあたり】

日頃から私たち東温高校野球部の活動に対し、御協力・御支援を賜り、ありがとうございます。私たちの活動はさまざま方の支えによって成り立つことができています。そこで感謝の意を表す1つの手段として、東温高校野球部通信「氣」を創刊いたしました。私たちの活動や選手の思いを感じ取っていただければ幸いです。また、選手の保護者の方々、野球部OBの諸先輩方、また部員が中学生時代にお世話になった諸先生方や後輩の中学生等々さまざまな方にこの野球部通信が届くことを願っています。

私たちは自らの成長とともに人々に感動を与えることを使命と肝に銘じ、目の前の結果に一喜一憂すること無く一歩ずつこれからも精進していきます。今後ともよろしくお祈いいたします。

(監督 堀内準一)